

愛知県田原市で絶滅危惧種の二枚貝シナヤカスエモノガイを確認

西 浩孝*

Record of an endangered bivalve, *Thracia concinna* from Tahara city, Aichi prefecture, Japan

Hiroataka Nishi*

はじめに

シナヤカスエモノガイ *Thracia concinna* Reeve, 1859 はスエモノガイ科 Thraciidae に属する二枚貝である。房総半島・男鹿半島から九州，朝鮮半島に分布する。潮通しのよい内湾の清浄な砂質干潟の低潮帯～潮下帯砂底に浅く潜って生息する（福田，2012，2014）。個体数や個体群の減少，生息条件の悪化，希少といった理由によって福田（2012）では絶滅危惧 II 類に選定されており，環境省レッドリスト 2020 でも絶滅危惧 II 類に選定されている（環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室，2020）。

本種は愛知県では愛知県（1985），三河湾及び遠州灘の貝類相をまとめた中島（1996），レッドデータブックあいち 2020（愛知県環境調査センター，2020），名古屋貝類談話会誌「かきつばた」各号等に掲載されておらず，県内からはこれまで死殻も含めて報告されていない。

このたび大村恵一氏から愛知県田原市西ノ浜産のシナヤカスエモノガイが豊橋市自然史博物館に寄贈された。これは愛知県からの初記録であると考えられるため，ここに報告する。

西ノ浜は渥美半島先端に位置し，伊良湖港から三河

湾側に約 10 km にわたって続く海岸である。西ノ浜においてはこれまでヒガシナメクジウオ *Branchiostoma japonicum* (Willey, 1897) も確認されている（西，2017）。また大村氏からは，同日西ノ浜で生貝として採集されたニシキウズ科の巻貝イボキサゴ *Umbonium moniliferum* (Lamarck, 1822) も合わせて寄贈された。イボキサゴは砂泥干潟に生息する種で，愛知県で絶滅危惧 IB 類に選定されており（木村，2020），愛知県内における生息場所は極めて限定されている。シナヤカスエモノガイやヒガシナメクジウオ，イボキサゴが生息できる，潮通しのよい清浄な砂質の環境を保全することが望まれる。

標本

スエモノガイ科 Thraciidae

シナヤカスエモノガイ *Thracia concinna* Reeve, 1859

標本：2 個体（豊橋市自然史博物館貝類標本 TMNH-MO-28954, 28955），愛知県田原市西ノ浜，2018 年 7 月 27 日，大村恵一氏採集。

TMNH-MO-28954 は合弁で殻長 13.8 mm，殻高 8.1 mm（第 1.1 図），TMNH-MO-28955 は右殻のみで殻長 18.0 mm，殻高 10.4 mm（第 1.2 図）。

*豊橋市自然史博物館. Toyohashi Museum of Natural History, 1-238 Oana, Oiwa-cho, Toyohashi, Aichi 441-3147, Japan. E-mail: nishi.

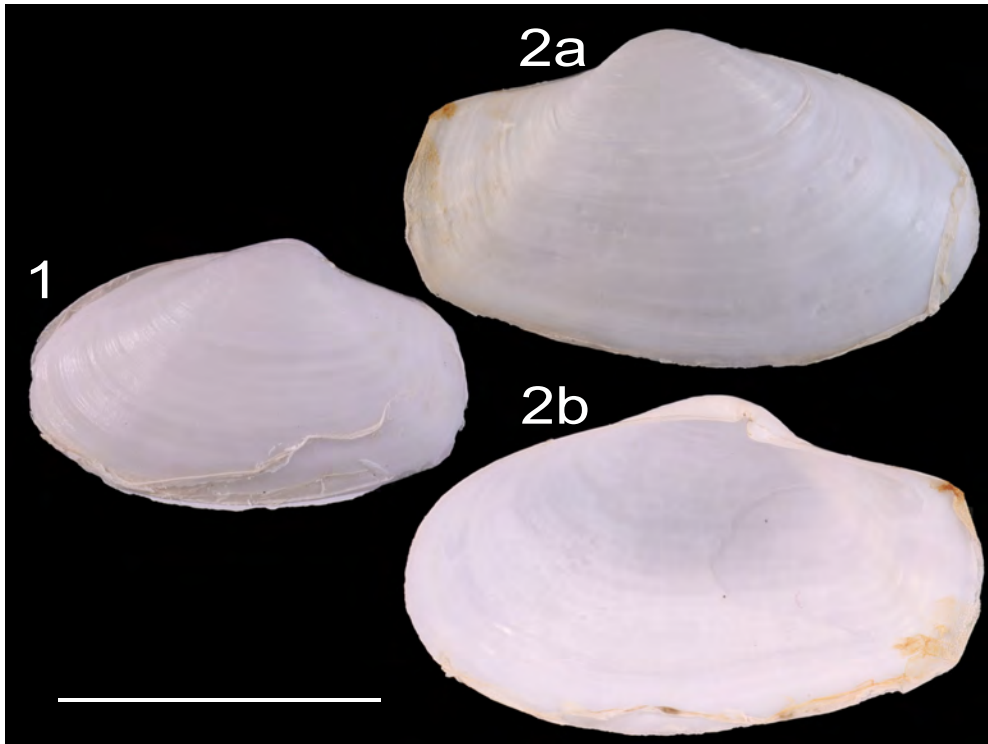
hirotaka@gmail.com

原稿受付 2020 年 12 月 20 日. Manuscript received Dec. 20, 2020.

原稿受理 2020 年 12 月 24 日. Manuscript accepted Dec. 24, 2020.

キーワード：シナヤカスエモノガイ，絶滅危惧種，田原市，愛知県。

Key words : *Thracia concinna*, endangered species, Tahara City, Aichi Prefecture.



第1図. シナヤカスエモノガイ. 1: TMNH-MO-28954, 2: TMNH-MO-28955, a: 外面, b: 内面. スケールバーは10 mm.

採集者の大村氏によると、採集地の海底は砂質で、シナヤカスエモノガイは水深数十 cm の海中を漂っていた。いずれの個体も死殻であったが、殻表に殻皮が残った新鮮な個体であった。従って、遠方から漂着したものではなく、現地に生息していたものである可能性が高い。

謝 辞

シナヤカスエモノガイを寄贈いただいた大村恵一氏、並びに同定いただいた木村昭一氏及び早瀬善正氏に感謝申し上げます。

引用文献

- 愛知県, 1985. 愛知県の自然環境—1984. 愛知県農地林務部自然保護課, 名古屋, 278 p.
- 愛知県環境調査センター (編), 2020. 愛知県の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブックあいち 2020—動物編—, 愛知県環境局環境政策部自然環境課, 名古屋, 768 p.
- 福田 宏, 2012. シナヤカスエモノガイ. 日本ベントス学会 (編), 干潟の絶滅危惧動物図鑑—海岸ベントスのレッドデータブック, 東海大学出版会, 秦野, 169.
- 福田 宏, 2014. シナヤカスエモノガイ. 環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室 (編), レッドデータブック 2014—日本の絶滅のおそれのある野生生物—6 貝類, 株式会社ぎょうせい, 東京, 415.
- 環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室, 2020. 環境省レッドリスト 2020 の公表について. <https://www.env.go.jp/press/107905.html> (2020年12月18日閲覧).
- 木村昭一, 2020. イボキサゴ. 愛知県環境調査センター (編), 愛知県の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブックあいち 2020—動物編—, 愛知県環境局環境政策部自然環境課, 名古屋, 561.
- 中島徳男, 1996. 三河湾・遠州灘産海産貝類目録. 自刊, 87 p.
- 西 浩孝, 2017. 渥美半島西ノ浜の潮間帯においてヒガシナメクジウオ (脊索動物門: ナメクジウオ綱: ナメクジウオ科) を確認. 豊橋市自然史博物館研究報告, (27): 37–39.